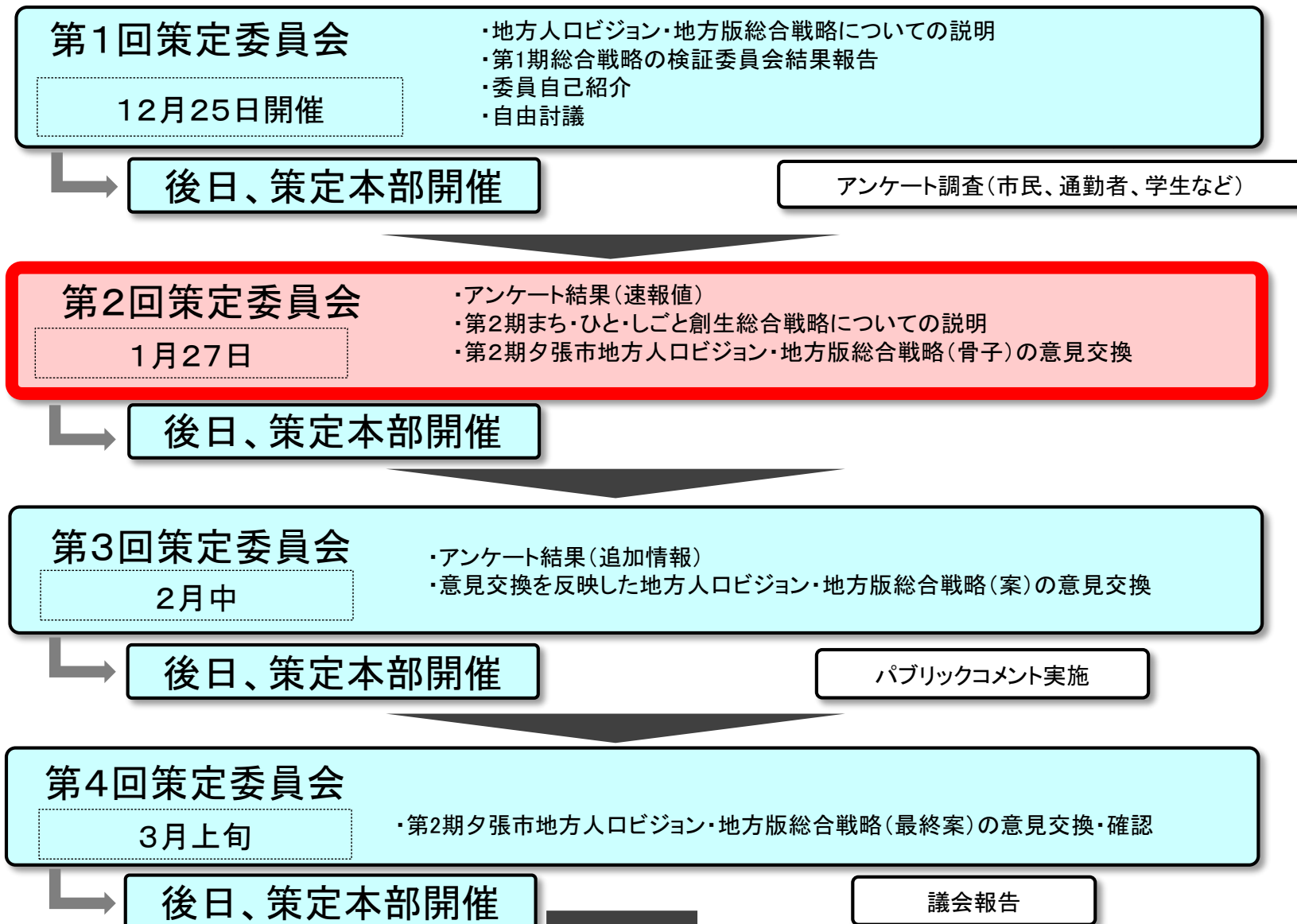


第2期夕張市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略
策定委員会
＜第2回＞
事務局提出資料

令和2年1月
夕張市地域振興課

第2期夕張市地方人口ビジョン・地方版総合戦略策定スケジュール(案)



第2期夕張市地方人口ビジョン・地方版総合戦略の策定

第1回策定委員会(12月25日開催)における主な議論について①

【第2期総合戦略の方向性等】

＜方向性について＞

- 総合戦略は5年で終わりというものではなく、継続してやっていくもの。第2期の総合戦略については、根本的に変えるのではなく、第1期をベースにして修正等していくべきではないか。
- 議論については、的を絞って、夕張をこういうまちにしていっての方がいいというのを考えるのが良いのではないか。
- ここに暮らしていく人の生きがい、やりがい、夕張に住んで良かった、夕張にいてよかったという所をどこに視点を置いてどういう取組みをしていくのかというところが大事なのではないか。

＜各分野における意見等について＞

(まちづくり)

- まちづくりマスタープランや第1期の総合戦略の中で、唯一決めたことが清水沢を中心に拠点を作っていこうということである。人口が減っているのに、全ての地区において人口が増えていくことは難しいが、清水沢を拠点にしようという意思ができたことによってまちづくりの方向性が出てきており、人が集まる場所や施設ができてきている。これは大事なことであり、これから夕張の将来を考えていくうえでは、どのように拠点を作っていくのかをしっかりと議論すべきではないか。
- 清水沢を中心として考えていこうという意思がある中、市役所が今後も本町にあるべきなのか、また夕張の様々な施設をどのようにこれから考えなければいけないのか、まさにこうしたことについて今考えなくてはならないタイミングなのではないか。

(産業)

- 地道な経済活動の中でいかに固定ファンをつくっていくか、どうやってすき間産業を狙っていくかといった知恵を出していかなければならないのではないか。
- 住民の暮らしがよくなるためには、働く受け皿があるかないか。またそういった方々の商店に対してどうやって応えていくか。それが地域の経済を活性化させるのではないか。

第1回策定委員会(12月25日開催)における主な議論について②

(雇用)

- 夕張で仕事を探している方の年齢構成を見ると、45歳以上の方が60数%を占めている状況。若い方と年齢が上の方とどちらが就職している人数が多いかと言えば、若い方である。上の年齢層の方も就職できる受け皿があるとよいのではないか。

(交流人口・関係人口)

- 三笠での食に特化したまちづくりに人が多く来ている、北見での映画ロケ地に外国人が多く来ている、網走でのスポーツ合宿に企業や大学が多く来ているなどなど、道内でも様々な発見がある。夕張にも似たような環境はある。なかなか難しいとは思いますが、他自治体の取組に何かヒントがあるのではないか。
- 夕張には、意外と遺産というか、廃線マニア、ダムマニアといったいろんなマニア受けする施設があるということがわかってきた。探してみれば意外と魅力的なことがあるのではないか。
- 定住だけにこだわるのではなく、関係人口を増やすことも必要ではないか。いろんなものをうまく組み合わせれば、関係人口を増やしていけるのではないか。
- 北京オリンピックに向けて日本はウィンター事業がものすごく活性化される。国は、全国のスキー場の手直し、手掛けを色々国としてやっていくというのを発表しており、この夕張のスキー場をどうようにしていくかというのは、すごく大きなチャンスではないか。
- 2024年の北京オリンピック後に、日本にウィンター事業のチャンスが来ると思われるので、その辺りをしっかりと戦略のテーマに盛り込んでみてはどうか。
- 今年、夕張で全道中学校スキー大会が行われる予定だが、相当の経済効果があると考えられる。強みを活かして頑張ってイベントを繰り広げていければ、もっと夕張全体が賑やかになっていくのではないか。
- 北海道全体で見れば、来年度は、白老町のウポポイということでアイヌの国立博物館ができるということ、札幌にオリンピックのマラソンと競歩、サッカーの試合があるということ、北海道に人が集まるという年である。また、10年後には札幌までの新幹線開通や、札幌冬季オリンピックの誘致といったところでも、色んな方々が北海道を訪れるといった中で、夕張としてそこに向けて何か手立てを打っていく必要があるのかといったことも今後考えてみていいのではないか。

第1回策定委員会(12月25日開催)における主な議論について③

(高校)

- ハワイや八丈島に短期留学に行ったり、様々な助成を受けている点について、良い面もあると思うが、生徒達が一番満足に感じるのはいくつかの所ではなくて、本当に毎日の1時間1時間の授業だったり、部活動だったりという、当たり前前の方がしっかりとやられているかどうかというところではないか。
- 高校に限った話ではないが、夕張を魅力的にするには、何か目に付くようなことをやるよりも、夕張にいる人が毎日毎日どうしたら幸せに感じられるのかをまず第一に考えることが大事なのではないか。どうしても何かやろうとすると、あれをやるこれをやるという実績作りみたいになってしまうが、大事なことは必ずしもそういったことではないのではないか。
- 夕張には素晴らしいスキー場もあるが、何かに特化したところで生徒を集めるのもよいのではないか。
- 夕張高校が無くなってしまうと社会にでる出口が無くなるのではないか。また、三笠高校みたいに特化するという意見もあるが、夕張で特化すると普通科で学びたい子どもたちが通う学校が無くなってしまう。普通科は普通科で残しつつ、特色を出す方向がいいのではないか。

(福祉)

- 高齢化率が全国トップクラスの本市において、2期目においては高齢者雇用や福祉の観点を入れておくべきではないか。

まち・ひと・しごと創生総合戦略の変更点概要(第1期→第2期)

第1期の基本目標

- ① 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

単なる雇用の創出だけでなく、魅力的なしごとを創出する

関係人口の創出や地域とつながる企業等を増やす

「若い世代」に限定しない結婚・出産・子育て施策や働き方改革

人々の様々な希望がかない、質の高い暮らしができるまち

第2期の基本目標

- ① 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする
- ② 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

横断的な目標

I 多様な人材の活躍を推進する	II 新しい時代の流れを力にする
-----------------	------------------

第2期における新たな視点(基本方針2019)

- (1) 地方へのひと・資金の流れを強化する
- (2) 新しい時代の流れを力にする
- (3) 人材を育て活かす
- (4) 民間と協働する
- (5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる
- (6) 地域経営の視点で取り組む

第2期夕張市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略策定方針

第1回策定委員会（R元. 12. 25）資料より

人口ビジョン

○直近の統計情報を踏まえ、時点修正を行う。

総合戦略

○国の掲げる「継続は力なり」という理念のもと、第1期総合戦略をベースとしつつも、第1期の検証結果や国の第2期総合戦略、夕張の現状等を踏まえながら、今後目指すべき姿及び戦略の柱建て、アクションプラン等についてあらためて検討していく。

総合戦略（第1期）

5つの「戦略の柱」

- (1) 若者の定住と子育て支援
- (2) 新たな人の流れ・交流人口の創出
- (3) 地域資源を活用した働く場づくり
- (4) 夕張の未来を創るプロジェクト
- (5) 持続可能なまちづくり
(コンパクト化・拠点形成)

第1期総合戦略の検証結果

国の第2期総合戦略等の
視点・考え方

夕張の現状等

総合戦略（第2期） ＜イメージ＞

- ・新たな戦略
- ・新たなアクションプラン
- etc

<意見交換>

夕張市における総合戦略の柱及び要素

夕張市総合戦略(第1期)

戦略の柱	要素
(1) 若者の定住と子育て支援	住宅の不足の解消、子育て環境の充実
(2) 新たな人の流れ・交流人口の創出	まちの魅力づくり、関係人口の創出、交流人口の創出(観光、スポーツ等)
(3) 地域資源を活用した働く場づくり	多様な人材(高齢者、障がい者、女性)の活躍、地場産業(農林業等)の強化
(4) 夕張の未来を創るプロジェクト	ふるさと教育、高校魅力化、人材育成(ICT活用等)
(5) 持続可能なまちづくり(コンパクト化・拠点形成)	都市拠点づくり、持続可能な公共交通、安心して暮らせる地域医療・生活福祉

委員の皆様からのご意見

夕張市の現状等

第1期総合戦略の検証結果

国の第2期総合戦略の方向性

2グループに分かれての意見交換

グループA

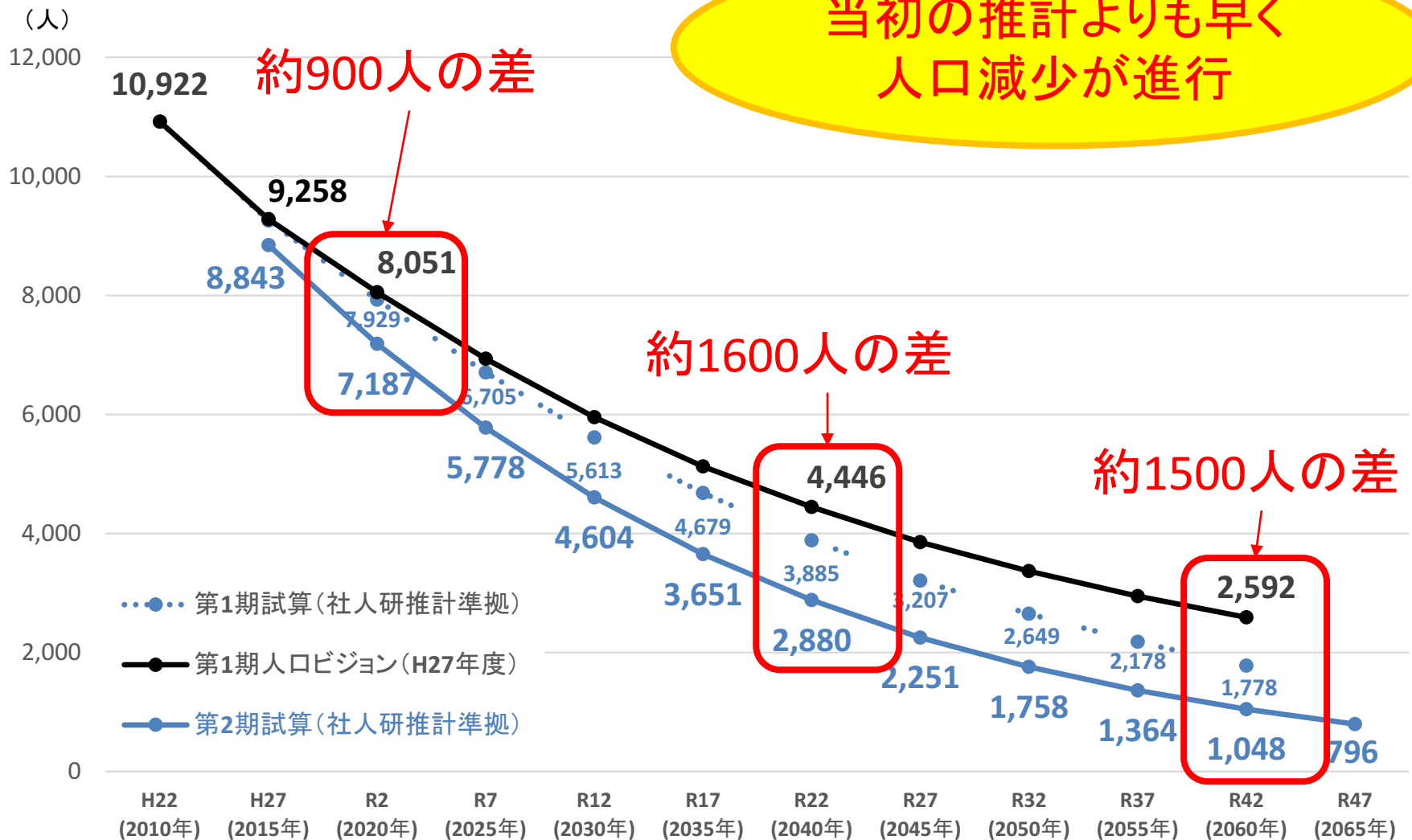
所属	氏名
司法書士・行政書士いまがわ事務所	今川 和哉
夕張商工会議所	小網 敏男
夕張市教頭会	酒井 誠
ゆうぱり再生市民会議	澤井 俊和
夕張市社会福祉協議会	菅野 義則
北洋銀行夕張支店	高橋 道晴
株式会社夕張ツムラ	戸澤 宏之
夕張保育協会	藤原 優介
国土交通省北海道開発局札幌開発建設部夕張川ダム総合管理事務所	久野 俊一
夕張鉄道株式会社	三上 浩紀

グループB

所属	氏名
夕張市地域史研究資料調査室	青木 隆夫
夕張市体育協会	阿部 新市
夕張リゾート株式会社	前川 信堅
千歳公共職業安定所夕張出張所	小林 敬真
北海道大学 大学院工学研究院	瀬戸口 剛
北海道夕張高等学校	高橋 浩幸
夕張市医師会	中條 俊博
夕張市農業協同組合	豊田 英幸
夕張市PTA連合会	永山 忍
一般社団法人夕張市観光プロモーション	若狭 翁斉

夕張市における人口推計の状況について

【図表数値】 社人研推計に準拠



市民アンケート調査結果(速報版)まとめ①

■ 転出抑制のために

①「夕張市に住み続けたいが、いずれ市外に転居する」が約3割。

➡ 夕張市に住み続けてもらうための施策の検討が必要。

②「医療や福祉サービスが不便なため」、「買い物や娯楽などが不便なため」が転出する主要な理由である。

➡ 「医療・福祉サービス」や「買い物や娯楽」の不便さを感じている人が多い。

③人口減少克服に向けて優先的に取り組むべき施策として「雇用・働く場の確保」「医療・福祉の充実」が多い

➡ 夕張に新たな人を呼ぶ「雇用・働く場の確保」とともに、安心した暮らしを夕張で実現するため「医療・福祉の充実」が必要となる。

市民アンケート調査結果(速報版)まとめ②

■転入促進のために

④市外からの通勤者のうち、半数程度が借家に居住。夕張市に住むための条件として「身近な買い物や娯楽の利便性」、「住宅が確保されている」が5割以上。

➡ 居住条件となる「住宅」と買い物等の「生活利便性」に加え、そもそもの「まちの魅力」を高め、総合的に住んでみたいと思える環境づくりが求められる。

⑤希望する住宅は、民間の賃貸マンション・アパートが多い。

➡ 民間賃貸住宅の整備を促進するとともに、住宅情報の充実も図ることも重要。

■次世代につないでいくために

⑥中高生のうち半数程度が、就業後は「市外に住んで働きたい」。

➡ 中高生ともに「通勤利便性」、「買い物・娯楽の充実」を求めている。

⑦中学生の約2割、高校生の約3割が、「夕張に住んでいたい」が、希望する職業では難しい」と回答。

➡ 夕張に住みたいと希望する中高生が、居住地として選択できる雇用の選択肢を広げることが重要。